



子供環境学習 ■ 環境について学ぶための取り組み

「未来の子供達に美しい自然を残したい。」ユニーは未来を作っていく子供達に、持続可能な社会を構築していくための教育を実施しています。地球温暖化を防止して低炭素社会を作ること。地球上の生き物が共存していける社会を作ること。資源を大切にしたい循環型社会を作ること。こうした持続可能な社会を作るためには、今何を学ばなければならないのか、何をしなくてはいけないのか、毎日の生活のなかでできることを考え実行できる子供を育成しています。

ユニーの環境学習は、持続可能な社会を作っていくために、身近なユニーの店舗や循環型農場、リサイクル工場や大自然のなかで環境学習を実施しています。

1. 循環型農業体験

- 食品廃棄物から再生資源に
- 循環型農業で収穫体験
- いろいろな生き物と一緒に生きていることを学ぶ

2. エコロお店探検隊

- 環境にやさしいお買い物
- 廃棄物をリサイクルする仕組み
- バリアフリーなお店
- 廃棄物を使ったエコ工作

3. リサイクル工場見学

- 廃棄物が再生利用される現場を見る

4. 夏休み自然探検隊

- 夏休みに白川郷の自然のなかで体験学習

5. インタープリター養成

- お店探検や農業体験、自然探検で子供たちの案内役（インタープリター）を行って人財を育成

6. 地元NPOや地元企業とのコラボレーション

- 地元のたくさんの人たちから学ぶ



1. 循環型農業体験

私たちの毎日の食卓に並ぶ食物は、どのように作られているのか。ユニーが推進している食品リサイクルループの仕組みを見学したり、田植えや収穫体験を通して「たくさんの生き物と一緒に生きていること（生物多様性）」や「食べ物を大切にすること」を学びました。

JAあいち海部での農業体験

JAあいち海部のエコ部会の農家では、ユニーが排出した食品残さで作った堆肥で野菜や果物を作っています。農家の田んぼや畑を訪れ、田植えや稲刈り、いちご狩りやじゃがいも掘りといった収穫体験をしました。



(有) 三功の循環型農業の見学

三功では、ユニーの店舗から排出された食品残さから堆肥を作り、その堆肥を使った野菜づくりを行っています。子供達は実際に堆肥の製造過程を見学し、発酵する際の匂いをかいだり、堆肥の山に手を入れ発熱しながら熟成がすすむことを体験します。その後、堆肥で育ったトマトやさつまいもを収穫し、採れたての野菜を味わいました。



農業体験

食品廃棄物から再生資源に

- 食べられなかった食品を捨てずにリサイクルして堆肥を作っています。発酵するときの臭いや熱を感じて、小さな生き物が堆肥を作ることを見学しました。



循環型農業で収穫体験

- 美味しい野菜や果物はどのように作っているのかを自分達で見学して、収穫の喜びを知ってもらいました。



いろんな生き物と一緒に生きていることを学ぶ

- 酪農場で子牛を触らせてもらい聴診器で心音を聞きました。みんな一緒に生きている！ 母牛のお乳を私たちはもらっているんですね。

